

平成30年第5回仙北市議会定例会 予算常任委員会

【質疑順】

議案第76号 平成30年度仙北市一般会計補正予算(第4号)

- | | | | |
|---|-----|------|----|
| 1 | 16番 | 高久昭二 | 委員 |
| 2 | 3番 | 高橋輝彦 | 委員 |
| 3 | 5番 | 高橋豪 | 委員 |
| 4 | 7番 | 平岡裕子 | 委員 |

【質疑順】

議案第79号 平成29年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について

- | | | | |
|---|-----|------|----|
| 1 | 6番 | 熊谷一夫 | 委員 |
| 2 | 16番 | 高久昭二 | 委員 |
| 3 | 5番 | 高橋豪 | 委員 |
| 4 | 7番 | 平岡裕子 | 委員 |

【通告要旨】**議案第76号 平成30年度仙北市一般会計補正予算(第4号)****通告者 16番 高久 昭二 委員**

- 1 歳出 3 款 2 項 3 目 放課後児童対策事業費 73 万 6 千円の内容、及び角館小放課後児童クラブの引率の在り方と、児童生徒への放課後管理教育上改善点はないか。
- 2 歳出 5 款 労働費 雇用創出助成金 350 万円の内容、及び助成効果等について、見直しを図る点はないか。
- 3 歳出 6 款 2 項 2 目 局所防災事業費 640 万円の工事内容、及び仙北市内に、まだ数カ所崩落危険箇所等あるのではないか。
- 4 歳出 7 款 商工費 企業誘致対策事業費 9 万 3 千円の内容、生保内黒沢工業団地の対応、及び企業誘致の在り方について、先進地例を検証し、積極的に取り組む必要はないか。

通告者 3番 高橋 輝彦 委員

- 1 歳出 2 款 1 項 6 目 農業 IOT・水素利用による産業創造事業費 1,250 万円について
 - (1) 今年の 6 月に SDGs 未来都市に選定され、今後は産学官が連携しての玉川温泉水から取り出す水素の活用が加速されていくと思われるが、今回の補正予算での事業の概要を伺いたい。
 - (2) 将来的には、水素エネルギーの産業化を目指すべきと考えるが、市長が 6 月の定例会で、今年度中に策定するとした「新エネルギービジョン」または、「SDGs 未来都市計画」において、玉川温泉水から生成する水素を将来的にどのように活用していくことにするのかを伺いたい。

通告者 5番 高橋 豪 委員

歳出 7 款 1 項 3 目 AKITA スノーリゾート推進事業費 541 万 9 千円について

- 1 事業費内容の詳細と事業費の内訳について伺う。
- 2 事業による誘客目標等について伺う。
- 3 委託先業者の選定方法について伺う。
- 4 スキー場等の外国人受け入れ態勢について伺う

通告者 7番 平岡 裕子 委員

- 1 歳出 2 款 1 項 6 目 農業 IOT・水素利用による産業創造事業費 1,250 万円について
 - (1) 今年度から 3 か年の事業と説明があったが、事業内容について伺う。
 - (2) 13 節 委託料 1,200 万円の委託先は、どこを予定しているのか伺う。
 - (3) 年度ごとの計画について伺う。
 - (4) 市政報告の中で、スマート農業の確立を目指すとあるが、スマート農業の姿を伺う。

- 2 歳出 6 款 1 項 6 目 農林業者研修集会施設管理運営費 210 万 2 千円について、施設名と工事請負費について伺う。
- 3 歳出 9 款 1 項 5 目 危険空き家対策費 105 万 2 千円について
 - (1) 現在、「危険空き家」と認定している施設数は、いくらか。29 年度は。
 - (2) 解体等は順調に進んでいるのか。
 - (3) 負担金補助金及び交付金の対象数を伺う。
- 4 歳出 7 款 1 項 3 目 がんばれ合宿応援事業費 150 万円について
当初予算は 130 万円の計上であり、補正額を合わせると 280 万円になる。29 年度決算では 180 万 8 千円である。要因は、事業自体の伸びと利用者増と思われるが、詳細について伺う。

【通告要旨】

議案第79号 平成29年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について

通告者 6番 熊谷一夫 委員

歳入 1 款 市税 不納欠損額が例年だと 5~6 千万円位だったのが、今決算では 2 億 3,670 万 4,103 円と多額の欠損額となっている。その主な内訳は、入湯税 62 件、2,494 万 1,082 円、固定資産税 3,174 件、1 億 8,920 万 8,852 円である。

- 1 入湯税は、既にお客様から頂いているお金であり、「預り金」といった性質のものである。それを滞納するのは横領といっても等しい行為である。滞納発生より不納欠損になるまでに滞納者と何回面談を行ってきたのか。金額が大きい物件の内訳と詳細な経緯の説明を求める。
 - 2 固定資産税の滞納者が倒産等に至る前に、不動産等の差押え等の措置を行ったケースがあったのか。
 - 3 債権回収マニュアルどおり行ってもこの結果なのか。
 - 4 今までと違い、2 億 3,800 万円もの不納欠損となった要因は。
 - 5 なぜ議会等に事前の説明をしなかったのか。所管の委員会へは、資料提出をしたのか。
- *現在は、県でトップの収納率の由利本荘市では、多額の不納欠損処理を行う時に、議長及び議会へ説明の上、全員協議会等で資料を基に 2~3 回説明して理解を求めたとの事。

通告者 17番 高久昭二 委員

- 1 歳出 4 款 衛生費 保健センター平成 28 年度医薬材料費 1,253 万 3,593 円支出されたが、平成 29 年度 37 万 1,031 円と大幅減になった理由は (13 節委託料大幅増額)
- 2 歳出 7 款 商工費 観光費 印刷製本費 578 万 9,124 円の発注先 (平成 28 年度支出 613 万 5,538 円)

- 3 歳出 8 款 土木費 全体不用額 2,570 万 4,368 円と高額になったが、年度途中からでも市民要望、危険箇所等道路維持補修に振り向けることができなかつたのか。

通告者 5 番 高 橋 豪 委員

- 1 歳出 3 款 1 項 社会福祉費 高齢者世帯等除雪支援事業費について
- (1) 具体的事業内容を確認する。
 - (2) 今後の制度の充実について伺う。
- 2 歳出 3 款 2 項 児童福祉費 在宅子育てサポート事業について
- (1) サポート券使用の実績について、実際に使用されたメニューや具体的詳細について伺う。
 - (2) 今後のサポート券使用範囲の拡充等について伺う。
- 3 歳出 3 款 2 項 児童福祉費 保育園等管理運営費 保育所入所待機児童等支援事業費補助金について
- (1) 平成 29 年度における保育所待機児童に対する対応と、現在の状況について伺う。
 - (2) 保育所入所待機児童等支援事業費補助金の利用実績は、待機児童者数 10 名に対し 2 名となっているが、他 8 名はどのような対応となったのかについて伺う。
 - (3) 通常の保育の他、病児保育等の需要も多い。市では過去の一般質問でも実現に向けて取り組むことを答弁しているが、病児保育等の実施についてはどのように進んでいるのかについて伺う。

通告者 7 番 平 岡 裕 子 委員

- 1 歳出 2 款 1 項 総務管理費 温泉×健康によるヘルスケア推進事業費 1,733 万 4,267 円のうち、委託料 ヘルスケア産業創出調査等支援業務 318 万 9,240 円。同じく岩盤浴地安全対策検討調査業務 594 万円について、調査の具体的な内容と成果について伺う。
- 2 備品購入 疲労ストレス測定器 4 台購入 621 万円について
- (1) 市政報告で、2 月から 7 月までの半年間で、6,011 件の利用があった中で、入浴前後と両方測定された方は 360 件で、6%に満たない数値は、少な過ぎではないのか。
 - (2) 関連事業として、「仙北市湯ったり生き生き温泉入浴事業」が 521 万千円の予算で、70 歳以上の方を対象に、申請者一人に 5 枚発行し、2 月 1 日から 3 月 31 日まで実施された。申請者は 1,964 人で 9,820 枚発行、利用実績は 6,844 枚となっている。報告では、測定について、20 代から 90 代の市民の皆様の活用は、2,568 件とある。70 代からの活用状況について伺う。
- 3 地域運営体活動推進費補助金 提案型特別交付金 田沢地域運営体「荷葉」253 万 9,835 円について、田沢地区企業向けストレスコントロール研修実践事業の内容について伺う。